

～荒木川流域自然観察会～ 荒木川流域バードウォッチング

実施時間：2019年1月26日（土）10：00～12：00

集合場所：里の駅「ふるさと市場 R213」

バードウォッチング講師：江口初男（日本野鳥の会大分県支部研究部長）
：杉浦嘉雄（おおいた有機農業研究会顧問）

この日に限って、天気予報は雨または雪とのことで、予報通り朝から雪が舞う天気でしたが、22人の参加者があり、不思議なことに10時～12時のバードウォッチングの時間だけは雨も雪も止み、少し風は吹いていたものの、絶好の観察日和？になりました。

荒木川の河口から上流にかけて、カモメなどの海鳥、ハクセキレイなどの川の野鳥、ヒヨドリなどの里山の野鳥など、計21種類の野鳥を観察することができました。中でもキジのオスが間近で観察できた時は、参加者も大喜びでした。

観察の後、ふるさと市場の食堂をお借りして、どんな野鳥が観察できたかを図鑑を見ながら確認しました。

また、荒木川流域プロジェクトについて、荒木川源流と下流と河口が自然循環でつながっていること、休耕田の復活などのもたらす自然環境保全の意味などについて学習しました。

初めての参加者がほとんどでしたが、ぜひまた参加したいとか、定期的にも実施してほしいなどの声がありました。

